



桜祭を終えて

校長 池田 和彦

校庭の桜の彩も秋の訪れを告げ、落ち着いた雰囲気醸し出しています。

先月 20 日、本校の文化的行事である第 12 回桜祭がサンアゼリア大ホールで行われました。1 年生から 3 年生にとっては初めての桜祭であり、その他の児童生徒にとっても 3 年ぶりの開催となりました。今回の桜祭では、やむなく各家庭からの来場人数を制限させていただきましたが、保護者、ご来賓の皆様にご早朝からお越しいただき、子供たちが真剣に頑張っている様子に、たくさんの拍手をいただきました。大変ありがたく、感謝申し上げます。

「本番まで毎日しっかりと練習に励み、その成果を見せていただいたことを大変嬉しく思いました。先生方、たくさんのボランティアの方々に支えられてすばらしい桜祭になり、本当に感動いたしました。1 年生から 9 年生までの全児童生徒と一緒に鑑賞し合うことができるのは、大泉桜学園のすばらしさと改めて実感しました。来年度もぜひ続けていただきたく願っています。」と、たくさんの保護者の皆様から賞賛の声が寄せられました。

子供たちは夏休み前からわずか 10 分間のステージに向けて、練習に取り組んできました。人々に感動をもたらすことは、簡単なことではありません。どんなに素晴らしい音色を奏でたとしても、そこに桜祭に向けた思いが一つにまとまった、一生懸命な子供の姿がなければ、人の心を動かすことはできません。私たちが大切にしたいことは、音楽の完成度だけではなく、本番に至るまでの一つ一つの過程の中にある、子供たちのさまざまな体験を通じた学びです。音楽の得意、不得意の入り交じった集団の中で、合唱、演奏に対する個々の温度差からくる軋轢や不満がその集団に暗い雰囲気を醸し出したり、まとまらないことに対しての憤りや、やるせなさに挫けそうになったりしたことが、幾度もあったと思います。それでも、担任や学年の先生、保護者の言葉かけや励ましを受け、また音楽科教員の指導を受け、最終的に仲間を信じて自分たちで幾多の山を乗り越えたからこそ、何にも代え難い喜びや心地よさを手にすることができたと思います。「気持ちを一つにすることの困難さと心地よさを桜祭を通して経験することができました。」という、子供の声に、多くの学びを得ることができたと実感しています。

桜祭は、1 年生から 9 年生が一堂に会して行われる、開校以来、本校が大切にしてきた行事です。成長の段階に応じた目標をそれぞれの学年が掲げ、その目標に向けて全力で取り組みました。下級生は上級生から多くのことを確実に学び、上級生は下級生の姿に温かな眼差しを向け、豊かな心をはぐくんでいます。

桜祭という行事も開校当初は、今のように小学部は演奏と合唱、中学部は合唱 2 曲というのではなく、歌と演劇を組み合わせるプログラムを構成していました。さまざまな経緯をたどり、教職員が試行錯誤しながら築き上げ、現在に至っています。今年度についても、コロナ感染症予防対策について保護者の皆様にご協力をいただくとともに、プログラムの順番や子供の座席位置、昼食場所の変更、教職員合唱の見合わせなど、一部を工夫改善をして実施いたしました。本校は、来年度、開校して 13 年目を迎えます。大泉桜学園としての伝統を守りながら、これからも小中一貫教育校として、本校ならではの特色ある教育活動の推進に向けて、児童生徒、そして教職員とともに努力していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第 12 回桜祭

小学部音楽専科 岩本 京子

私が今の 9 年生の歌声を最後に聴いたのは、彼らが 6 年生の時、卒業式で歌う曲を授業で学習していた時です。その後学校はコロナで休校となり、卒業式では歌うことができず、私の彼らの歌声の記憶はその時でストップしたままでした。

あれから 2 年半。先日 3 年ぶりに和光市民文化センターサンアゼリアホールで桜祭が開催されました。9 年生にとっては「中学部最初で最後の桜祭」。コロナで開催できなかったこれまでの分まで頑張ろうと、心を合わせ精一杯歌っている姿に、私の過去の記憶が蘇ると同時に彼らの表現する力と心の成長を嬉しく頼もしく感じました。

他の学年の児童生徒も同じです。これまで長期間歌うことや楽器を吹いて鳴らすことができませんでした。それでもそれを感じさせないくらい、桜祭の舞台では自分なりの思いをもって一生懸命に表現していて、人の心を動かす素敵な演奏でした。

また、コロナ禍でマスク等の制限はありましたが、彼らから生まれ出た音楽がホールいっぱいに響き渡り、今回桜祭を開催できてよかったと心から思いました。



桜祭は多くの方々の支えがあって成り立っています。5～9 年生の桜祭実行委員、桜祭を盛り上げようと日々練習に取り組んできた子供たち、パンフレットの表紙絵やめくりプログラムを書いて盛り上げてくれた子供たち、そして子供たちをご家庭で支えてくださった保護者の皆様、3 年ぶりの桜祭を無事に

に終わることができました。本当にありがとうございました。

第 5 学年 レッツ・トライ・桜米「稲刈り」

第 5 学年担任 北條 静香

春から育ててきた桜米も、いよいよ収穫の時期を迎えました。多くの実を付けた稲穂は、穂先を垂らし、黄金色に輝いていました。

10 月 8 日（土）に、稲刈りを実施しました。「鎌を回しながら刈ります」と難波先生、桜米実行委員の児童からも説明がありましたが、初めはなかなか上手いかないようでした。しかし、回数を重ねるごとに上達し、素早く刈ることができるようになっていきました。稲を刈るときの、「ザクッ」という感触を味わいながら、収穫の喜びを感じていたようです。刈り取った稲穂は、ひもで結び、乾燥させるために、はさかけをしました。また、稲刈り中に落ちてしまった一本一本の稲にも目を向け、無駄にしないように拾い集める児童もいました。育ててきたお米を無駄にしないようにしたいという思いが垣間見えました。最後に、来年の 5 年生のためにレンゲ草の種を蒔きました。来年のお米作りの栄養になるそうです。



多くの方のご協力を得て、8 日の収穫の日を迎えることができました。感謝の気持ちを持ち、残りの活動も実施していきたいと思えます。

第6学年 室町文化体験

第6学年主任 下川 洋平

10月8日（土）に社会科の歴史学習の発展的な内容、また、総合的な学習の時間の「室町文化を調べよう」という学習の一環として、体験学習を行いました。この学習は本校の教育活動の特色の一つで、当日は、華道（草月流）の近藤由美子先生、茶道（裏千家）の佐藤浪子先生、墨絵（国際墨画会）の古川玲秀先生の3人の講師をお迎えしました。



事前の学習や調べる活動を通して、室町時代にこのような日本を象徴する伝統文化が確立した背景や、それぞれの作法や使用する道具などについて、ある程度は理解することができました。しかし、実際に体験したことのある児童は少なく、当日は心地よい緊張感のもと、興味関心をもって取り組むことができました。

華道の体験では、近藤先生にまず基本的な生け方を教わり、数種類の草花を二人組で相談し、助け合いながら生けました。型を大切にしながらも、児童の豊かな発想が活かされた作品が完成しました。どれも生き生きとした美しいものに仕上がりました。

茶道体験では、佐藤先生にお茶会に参加することを通して美しい所作や感謝の心を教えていただきました。慣れない正座に苦労しながらも、和三盆と抹茶のおいしさを感じ、心と体で学びを広げている姿が印象的でした。



墨絵体験では、古川先生の一つ一つの説明にしっかりと耳を傾け、筆の特徴を十分に活かして竹の絵を半紙いっぱい描いていきました。水と墨の含ませ具合で微妙に変化していく墨の濃淡に驚きながら、墨の色だけで描く見事な竹の絵に、満足感をたくさん味わえた様子でした。

伝統文化に親しみ、より深く知ることが、これを守り、伝えていこうとする第一歩につながると考えます。この体験をきっかけに、我が国の素晴らしい伝統文化を大切にしようとする心がもてたならうれしく思います。

前日や当日はたくさんの保護者ボランティアの方々がお手伝いくださり、とてもスムーズに体験活動を進めることができました。お忙しい中ご協力くださり、ありがとうございました。

第1・2学年 生活科見学 ～海の生き物博士になれたかな？～

小学部生活指導主任 荻島 明子

9月29日（木）に葛西臨海水族園に生活科見学に行きました。今回は、1・2年生でたてわり班に分かれ、役割分担を決めてクイズラリーをしながら回りました。

1年生にとっては初めてとなる校外での学習。わくわくドキドキした表情で水族園を見学しました。班活動は、2年生を中心にして

まとまりながら歩きました。ポイントの先生を見つけると嬉しそうに手を振る子供たち。ほっと安堵したような顔を見せる子もいました。班長がきちんと点呼をし、報告する姿が大変たくましく感じました。迷子にならないように子供たち自身も気を付けて行動していた様子がひしひしと伝わってきました。2年生は「魚っちゃんぐシート」



を班全員が書き進めているか、観る時に他のお客さんの迷惑になっていないかなど細かいところまで気を配り、無事全ての班がゴールまで進むことができました。

大きなマグロやサメ、かわいいペンギンなど、子供たちは思い思いにお気に入りの生き物を見つけることができました。学校に帰ってくると口々に「楽しかった!」という声上がり、やりきった達成感を味わうことができましたようです。

学校に帰ってから事後学習で1年生は「観察カード」、2年生は「生活科新聞」を書きました。1・2年生と一緒に活動することで、子供たちの成長を感じる体験になりました。

後期児童生徒総会

児童生徒会担当 植松 寿行

10月14日(金)に3年ぶりに体育館で5～9年生が一同に集まる形で後期児童生徒総会が行われました。この日のために、各委員長、質問・提案者、議長団、児童生徒会役員は準備を進めてきました。後期から、8年生が各委員長を務めるため、新しい顔ぶれで会は進りました。コロナ前と同様、原稿を見ないで、聞き取りやすい速さで話すことにも気をつけながら、委員会の活動方針などについて発表する姿が見られました。また、各クラスの代表者が各委員会に対して、議案書討議で出た質問や提案をたくさんしていました。それに対して、委員長が一つ一つ丁寧に返答をすることができていました。このような場面が今後が増えると、更に学校をよりよくすることができると感じました。



12期児童生徒会役員が立てたテーマは、「百折不撓～ONE DREAM～」です。このテーマには、大泉桜学園の皆さんが委員会などの仕事が大変でも、しっかりと目標に向かって最後までやり遂げてほしいという思いが込められています。このテーマを合い言葉に、各委員会で今回立てた目標の実現に向けて最後まで頑張してほしいです。また、児童生徒の皆さんも、委員会活動に関心をもって、自治活動を盛り上げてほしいと思います。

11月行事予定							新型コロナウイルス感染症に関連して今後変更する可能性があります。 ☆令和4年度より相談予約の専用携帯の番号が変わりました。
日	月	火	水	木	金	土	
	10/31	1	2	3	4	5	
	進路面談(9)始	安全指導 貧血検査(7)		文化の日	開校記念集会 飯倉炊さん(567)		
6	7	8	9	10	11	12	
	朝礼 進路面談(9)終		中学部午前授業 避難訓練 クラブ活動	就学時健診 3時間授業給食あり		土曜授業 長縄集会(1234)	
13	14	15	16	17	18	19	
	桜学朝会 午前授業 5年2組は研究授業 のため5時間授業	小学部個人面談始 歯科指導(4)	期末考査①	期末考査②	期末考査③		
20	21	22	23	24	25	26	
	期別朝礼Ⅲ 小学部個人面談終		勤労感謝の日	委員会 たてわり班遊び	5時間授業		
27	28	29	30	12/1	2	3	
	期別朝礼Ⅱ 小学部持久走週間 始		小学部午前授業 大泉学園保育園との交 流(1)	安全指導 クラブ活動	中学部三者面談始		

教育相談場所	西校舎3階「相談室」	東校舎1階「あったまルーム」
☆中学部 スクールカウンセラー(上草)火曜日9:00～17:00 心のふれあい相談員(大内)木曜日9:00～17:00	☆小学部 スクールカウンセラー(中村)月曜日9:00～17:00 心のふれあい相談員(木村)火・木・金曜日9:00～14:00	
相談予約は専用携帯へお願いします。小学部:080-7798-3201 中学部:080-7798-3336(5・6年生は中学部用でも可)		